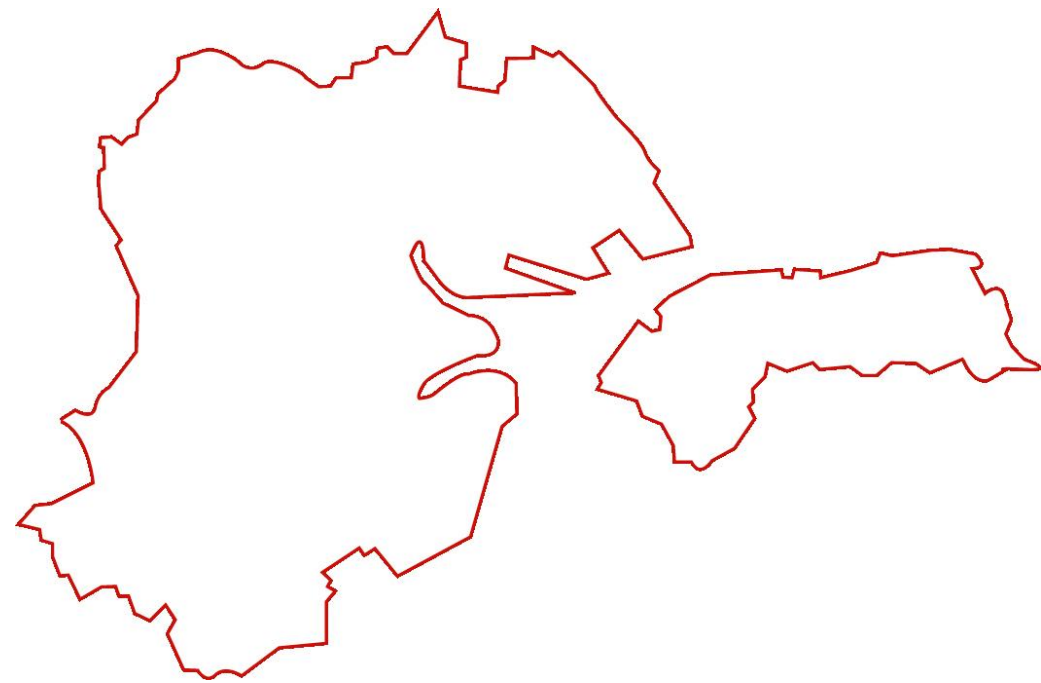


令和2年度 南西部会活動報告



支援センター・コンドル
山本 博宣

南西地域部会の開催頻度と事業所数

○毎月（第2・第4金曜日）

| | | |
|---------|-----------|-------|
| ○参加事業所： | 南区相談支援事業所 | 12ヶ所 |
| | 早島地区 | 1ヶ所 |
| | 玉野地区 | 1ヶ所 |
| | 救護施設 | 1ヶ所 |
| | 計 | 15事業所 |

○場所：西ふれあいセンター等

南西地域部会が目指すもの

連携

- ・ サービス管理責任者との定期的活動
- ・ 情報共有、サービスの質向上

地域移行

- ・ 地域移行支援の推進
- ・ 多職種連携、当事者活動

緊急対応

- ・ 定例的な活動の般化
- ・ 事例の積み上げ、対応の流れ

南西地域部会

～地域課題抽出・事例検討・事業所レビュー(協議会報告)

令和2年度活動報告

① 事業所レビューからの地域課題の抽出・・・第2金曜日

GWで日常の疑問、困りごとを話し合い、各専門員の気づきの中から課題を抽出。また、タイムリーな事例を全体の事例検討に繋がられるようにする。



- ・個別課題から地域課題を抽出する事と事業所レビューの活性化を目的とし、4～5名のグループを形成。各専門員が抱える業務内での気づきや情報等を共有。
- ・メンバーの各事例の困り感のある事例をグループ内共有をおこない、そこで解決できるものと検討が必要なケースに分類。全体共有後、緊急度の高い事例や専門員の要望に合わせてGSVに繋げる。

令和2年度活動報告

② 事例検討・・・第4金曜日

現任者研修の事例検討スタイルを踏襲。グループワークから抽出された緊急的な事案に対し事例検討をおこない、専門員の困り感の軽減を目指す。

③ 部会報告、情報共有・・・随時

各専門部会の活動報告や情報提供、新規事業所紹介など、最新の情報を共有をする。

④ 地域移行支援事業への取り組み・・・月1回

「南区から地域移行を支援に関するシステムを構築する」を目標に、こころの健康センターと精神科病院、相談支援事業所で会議をおこなう。今年度で4年目。各地域部会でも会議が設置され、2度の合同会議を開催。市全域で取り組みが行われ、各地域での課題や今後の取り組みに必要な意見交換をおこなう。

コロナ禍の影響で取り組めなかったこと

① 事業所支援活動及びミニ研修会の実施

アウトリーチによる相談支援事業所への支援を実施。各専門員の困りごとに向き合い、現場の声を抽出。また、その困りごとや事業所レビューから拾い上げた疑問に対し、ミニ研修会を実施。専門員のスキルアップと負担軽減を図る。

② サビ管との連携強化 *（サビ管・相談支援専門員合同意見交換会）*

サビ管を中心にコア会議を実施。よりサビ管の能動的な活動に繋げる。サービス等利用計画と個別支援計画の連動を常に意識する。

③ 地域生活支援拠点の有効的な活用 *（南西地域生活支援拠点運営連絡会）*

緊急対応、体験利用、地域づくり、人材育成など総合的視点から複合課題の取り組み方を模索。面的整備を充実させ、誰もが困らない地域づくりを目指す。

④ ケアマネとの連携交流 *（南区南福祉事務所管内ケアマネジャー交流会）*

「障害福祉サービスから介護保険への円滑なつなぎと8050にどう備えるか」を地域包括支援センター、居宅介護事業所と顔の見える連携を図る。